



# BSR 通信

BSR 推進室ニュースレター第 1 号

平成 26 年 4 月 10 日

発行：大正大学 BSR 推進室

〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨 3-20-1

03-5394-3079 (直通)

## 巻頭言

BSR 推進室 顧問  
星野英紀

### 目次

- 1 頁 : 巻頭言
- 2 頁 : 研究ノート
- 3 頁 : BSR 図書室・さざえ堂だより
- 4 頁 : 鴨台カフェ僧話花・ニュースレター  
創刊によせて・今後の予定

大正大学 90 年の歴史に平成 25 年より新たな仏教施設が加わった。それが「すがも鴨台観音堂」である。八角のお堂で、お堂をめぐるながら登り上層部に安置されている観音さまに拝めるような構造になっている。ちょうど貝の栄螺（さざえ）のようになっているので「鴨台さざえ堂」と通称している。

キャンパスにはすでに二つの礼拝施設がある。まず、キャンパスの奥にある礼拝堂とそこに祀られている重要文化財指定の阿弥陀如来が安置されている。キャンパスの奥にどっしり構えている。二番目は 4 号館前の釈迦さまの誕生仏である。そして、新設のさ

ざえ堂である。

さざえ堂はいままで施設の無い特徴を持っている。まずその位置である。さざえ堂は天下の公道・庚申塚通り（旧中山道）に面している。道歩きの目につきやすい。道路面と広く接しており人の目に入りやすい。参拝者が訪れやすい。そして栄螺（さざえ）の形をしていることでも人々の注目を引く。落慶式が行われた平成 25 年 5 月 18 日以来、数多くの方々が参りに来て頂いている。

さざえ堂の堂宇はその建物がすばらしい上に、誰でもが参りできるように完全オープンである。すでに毎日参りにくるリピーターも何人もいる。90 周年記念事業推進のなかでキャンパス

はいままでになく開放されたが、その象徴がさざえ堂である。

大学は教育と研究の二本柱が命と長らくいわれてきた。ところが今や三本柱が大学の使命だといわれるようになった。三番目は社会貢献、地域貢献である。とくに平成 23 年 3 月の東日本大震災以降、大学の社会貢献は一層具体的成果を求められるようになった。

大正大学の建学の精神は大乗仏教である。その根本は大慈悲である。その大慈悲を实践する拠点の一つがさざえ堂である。今後さらに 1 年、2 年をかけてイベントを充実させていくつもりである。

## 研究ノート

## BSR とは何か？

BSR とは、仏教者の社会的責任 (Buddhist Social Responsibility) の略称になります。推進室の準備段階では、「仏教(者)の社会的責任」と表記され、「仏教」と「仏教者」が併記されていましたが、社会的責任は個人や組織がなうものなので、現在は、「仏教者の社会的責任」が妥当であろうと思います。

## 社会的責任とは

社会的責任 (SR) については、すでに国際規格 ISO26000「社会的責任に関する手引」が出されています。

もともと、SR は CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) という用語で用いられていました。企業が一社の利益のみを追い求めるのではなく、社会を構成する一員として、持続可能な社会の実現のために責任ある行動が求められるようになったのです。やがて、NPO、NGO といった企業体ではない組織の役割の増大、グローバル化の拡大などのなかで、SR は企業だけではなく、あらゆる組織がなうべきものと考えられるようになりました。

ISO26000 は認証が必要とされる規格ではなく、あくまで手引 (ガイド) ではありますが、社会的責任を果たすために必要な 7 つの原則が挙げられています。ここでは「やさしい社会的責任 解説編」(ISO/SR 国内委員会/一般財団法人日本規格協会編) の説明とともに紹介しましょう。

- ① 《説明責任》  
組織の活動によって外部に与える影響を説明する。
- ② 《透明性》  
組織の意思決定や活動の透明性を保つ。
- ③ 《倫理的な行動》  
公平性や誠実であることなど倫理観に基づいて行動する。
- ④ 《ステークホルダーの利害の尊重》  
様々なステークホルダーへ配慮して対応する。
- ⑤ 《法の支配の尊重》  
各国の法令を尊重し順守する。
- ⑥ 《国際行動規範の尊重》  
法律だけでなく、国際的に通用している規範を尊重する。
- ⑦ 《人権の尊重》  
重要かつ普遍的である人権を尊重する。

## 仏教者の社会的責任とは

では、仏教者の社会的責任とはどのようなことなのでしょう。この用語は今まで使用されてきたものではなく、当推進室でもその語句の定義や概念の射程を模索している段階です。

昨今、「宗教の社会貢献活動」という言葉が宗教界・宗教学界で流行っています。宗教者・宗教団体によるボランティア活動や地域貢献を指し、特に東日本大震災での宗教者の活動に注目が集まっています。「社会的責任」と「社会貢献」は似たような響きを持ちますが、「社会的責任」の方がカバーする範囲が

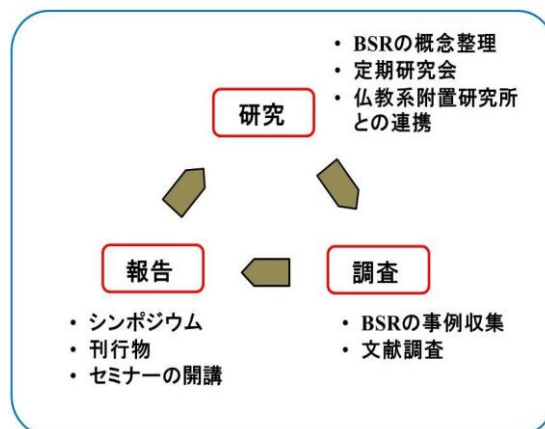
広く、「社会貢献」を含むものといえます。

ほかに、たとえば「説明責任」でいえば、葬儀や法事の意義を檀信徒にしっかり伝えることも当てはまるでしょうし、寺院の会計をオープンにすることは「透明性」の確保につながるでしょう。

また、「仏教者」といっても、その対象は、仏教教団、地域内ネットワーク、寺院、僧侶・檀信徒個人などに分類され、それぞれで社会的責任の中身も変わってくると思われます。BSR 推進室は、現在、さざえ堂を中心とした仏教文化の発信、地域との交流を鴨台プロジェクトセンターと協力して行っていますが、仏教精神を基盤とした大正大学を「仏教者」とみなせば、これも BSR の一事例とみなすことができます。

当推進室では、これから、文献調査や具体的事例の収集・分析により、BSR とは何かを明らかにしていく方針です。BSR 概念の整理は、宗教の公益性、公益法人としての寺院といった課題の解決にも、大きく寄与することでしょう。そして、その成果をシンポジウムの開催や刊行物の発行により、仏教界、学界、社会に発信をしていくことを目指しています。

## BSR 推進室の研究イメージ図



## BSR 図書室

磯村健太郎著『ルポ仏教、貧困・自殺に挑む』

(岩波書店、2011 年、1,995 円)

お坊さんの仕事といえば、葬儀、法事、月参りが定番です。しかし近年、それら伝統的領域を超え、活躍の場を広げる僧侶があらわれてきました。なかには、もっと踏み込んで現代社会の問題に積極的に取り組む僧侶もいます。本書では、そんな僧侶 – ホームレス支援や自殺防止に取り組む僧侶 – を取り上げ、丹念にその活動をまとめています。

本書は、第 1 章から第 3 章までは貧困問題を、つづく第 4 章、第 5 章では自殺問題を扱っています。活動のあり方は多様で、お寺をベースに行う支援活動から、お寺を離れてドヤ街（東京・山谷や大阪・釜ヶ崎などの日雇い労働者の街）に飛び込む僧侶など、バラエティに富んでいます。

著者は現役の新聞記者。その文章は読みやすく、語り口は読者を引き込みます。「貧困」「自殺」といった重いタイトルがついていながら、読み手の気持ちを重くさせないのは著者の心



遣いでしょうか。あっという間に読み終わってしまいました。

本書を通読してみると、現代社会における「苦」の問題に気づかされます。一見すると貧困や自殺は、現代社会特有の問題であるように思えますが、その根底にあるのは「つながり」や「苦」という、むしろこれまで仏教が扱ってきた問題でした。お寺離れが進んでいるといわれる現代社会にあっても、僧侶として学んできたものが十分発揮できる場所があるということを教えてくれる一冊です。

## さざえ堂だより

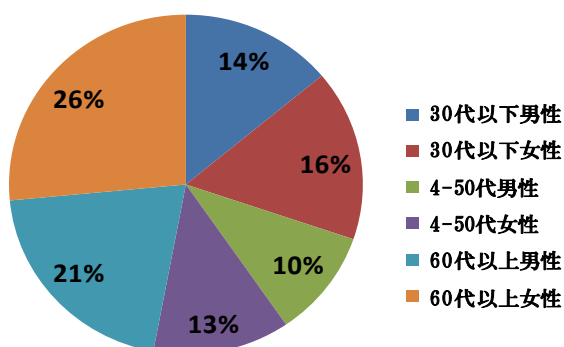
平成 25 年 5 月 18 日に落慶したすがも鴨台観音堂（通称さざえ堂）は、毎日多くの方が参拝にいらしゃいます。そこで BSR 推進室では、参拝者にさざえ堂内を案内する「お堂番さん」を募りました。現在、10 名ほどの方がお堂番さんとしてお勤めくださり、訪れた方に建物の意匠や仏像の由来について説明してくださっています。近所にお住まいの方や、毎朝お子さん

といらっしゃるお母さん、遠方からグループでいらっしゃる年配の参拝者など、さざえ堂にいらっしゃる方は十人十色ですが、お堂番さんたちの丁寧な説明、心のこもったご案内は訪れる方々に大変喜ばれています。

BSR 推進室では、そのお堂番さんたちの力を借り、平成 25 年 9 月 21 日より、参拝者の記録をとってまいりました。参拝者数の集計によると、3 月 23 日までの 6 ヶ月程のあいだに延べ 1 万 2657 人の方に参拝いただきました。左のグラフを見てもわかるように、参拝者の 4 分の 1 以上は年配の女性で占められています。男性も合わせると 60 代以上の年配者が半数近い割合を占めるなか、次に多く参拝しているのは 30 代以下の若年層ということもわかりました。若年層には学生の参拝者も多く含まれており、地域だけでなく本学に通う学生にとっても愛される仏教施設だということができるでしょう。

BSR 推進室ではお堂番に学生ボランティアも募集しています。観音様とのご縁を通じて参拝者と学生が縁を結ぶような環境を整えてまいります。

参拝者男女年代別割合



## 鴨台カフェ僧話花（そわか）

BSR 推進室では、毎月第三土曜日の 12 時から 16 時のあいだ、5 号館 1 階で、僧侶によるフリースペース「鴨台カフェ 僧話花」を行っております。散歩の途中に一休みしてもよし、普段あまり話す機会のないお坊さんとおしゃべりしてもよし、お茶やコーヒーを飲みながら、都会の喧騒のなかで一息つける場を提供しています。また写経や写仏といった体験コーナーもあり、さまざまなかたちで仏教にふれることができるスペースとなっています。

昨年 10 月よりはじめた BSR のころみですが、これまで 6 回の開催であわせて 150 名以上の方にご利用頂きました。花会式にいらっしゃった方が、もう少し仏教のお話を聞きたいと足を運んでくださったり、ご近所にお住まいの方が写経をしたいと立ち寄りられたりと、多くの方が仏教にふれる機会を求めていらっしゃるようです。なかには、大正大学への受験を控えた高校生が親御さんとお見えになったことも。お茶を飲みながら学内の雰囲気などをお話しさせていただきました。

今後は僧階取得を目指す学生さんの力も借りながら、多くの人に訪れていただけるような雰囲気作りにつとめてまいりたいと思います。



### ニュースレター創刊によせて

BSR 推進室ではこのたびニュースレターを刊行することにいたしました。

本誌面では、BSR に関する事例の紹介や研究ノート、さざえ堂関連の出来事紹介、BSR 関係図書を紹介などを行っていく予定です。また、さざえ堂で行われるイベント案内も掲載する予定です。

コンテンツの充実に向けて、みなさまからもご意見・ご感想等お寄せいただけたら幸いです。

BSR 推進室 [bsr\\_lab@mail.tais.ac.jp](mailto:bsr_lab@mail.tais.ac.jp)

## 今後の予定

4月19日（土）	11時～12時	花会式（天台宗）	鴨台観音堂前
	12時～16時	鴨台カフェ 僧話花	5号館1階
5月18日（日）	11時～12時	すがも鴨台花まつり	鴨台観音堂前
	12時～16時	※五宗派合同花会式ののち学長による法話 鴨台カフェ 僧話花	5号館1階

